

# あしがら 農の会

通信 二〇一八年 四月号

第191号 平成30年旧如月六日(2018.3.22)発行

発行 NPO 法人 あしがら農の会 <http://nounokai.com/>  
代表 岩本 正 090-9820-4221(携帯)

編集 石井智子 090-3502-1353(携帯)  
bombalurina@savanna.dti.ne.jp (石井)

## 地場 旬 自給

あしがら農の会はあしがら地域に様々な循環を作りたいとの思いから、地場、旬、自給を掲げて、1993年に設立されました。(2003年にNPO法人化)  
地域の中の休耕田を借りて自給のための米作りから始まった会は、現在以下のような活動を行っています。

**農産物の宅配:** 会に賛同する野菜の生産者と、地域で自給の為の野菜の作り手が集まって、無農薬・無化学肥料栽培の野菜宅配を行っています。(その他、米、お茶、果実、卵、鶏肉、豚肉などもあります)

**田んぼの会:** 現在約100家族以上が、あしがら平野の13カ所で自給用の稲を育てています。

**お茶の会:** 山に戻ってしまうお茶畑を、市民で手入れできないかと始まりました。5月には参加者約100名が、各自1年分のお茶を摘み取ります。

**大豆・味噌の会:** 大豆は7月に苗作りから始まり、11月に収穫します。その大豆と、各自が田んぼの会で作っているお米で、1月には麴づくりから味噌作りを行っています。

**小麦の会:** 月1キロの小麦の自給を目指します。

その他、四季折々の行事を行っています。関心のある方はどなたでも参加できます。

### 有機な仲間たち ★其の64★

### 「市内初!ボランティアによる石造物調査」 小田原市郷土文化館 保坂 匠さん

石造物とは、寺社や道端にある石仏・石神や記念碑、句碑などのことです。これを調べると建立された当時の人々の生活や信仰など、地域の歴史がわかります。小田原市郷土文化館では市内の石造物を記録し後世に伝えるために、平成29年7月から市民ボランティアとともに石造物調査を開始しました。ボランティアと行う調査は小田原市では初めての試みです。

12月までの半年間で城山地区西側を調査し、89個の石造物を確認することができました。確認した石造物は、道祖神など地域に根ざした信仰物をはじめ、関東大震災からの復興に関する碑、大正時代に行われた自動車の普及にともなう道路の拡幅工事を記念した碑などさまざまなものがあります。

石造物の多くは、江戸時代初期、1650年頃から建立され始めたこととされ、戦乱の世が終わり、人々の生活が落ち着いて余裕が出てきたことが理由だと考えられています。しかし、

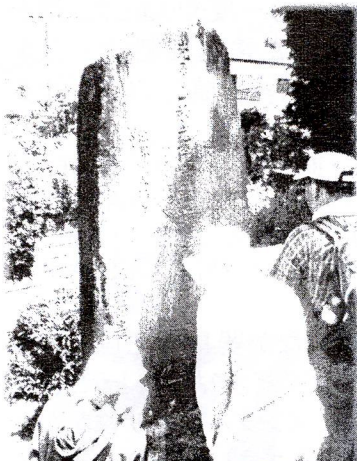
小田原は戦国時代以前に建立された石造物も残る特殊な地域で、古くから栄えていたことが窺えます。また江戸時代には東海道の宿場町として栄えたことで、寺社や宿場の後背地であった農村に石造物が多く残っています。その石材には根府川石が使われていることが多くあり、当時は地域にある材料を使う、地産地

消の時代だったとも言えます。もちろん時代によって異なると思われ、今後の調査によって解き明かされることでしょう。

さて、石造物からはどんなことがわかるのでしょうか。ひとつ挙げるとすれば、小田原の文化的特徴があります。その一例として道祖神を見てみましょう。石で作られた道祖神は関東甲信越で多く建立され、特に神奈川県や静岡県東部には双体道祖神と呼ばれる男神・女神が並んだ像が建てられています。しかし、小田原市域では双体道祖神のほかにも3種類の道祖神が見られます。石祠、僧形、木の祠(稲荷型)です。石祠は箱根、僧形は伊豆半島の道祖神です。木の祠は御府内周辺に見られ、小田原独特のもです。小田原が伊豆や駿河と文化的に接しており、文化混交地であったことがわかります。道祖神だけ見ても地域差があり、文化の交流が窺えます。他にも静岡県駿東郡小山町円通寺とのつながりがわかる、小栗判官に縁のある鬼鹿毛馬頭観音などが市内に見られます。

このように石造物調査をすると、地域に根ざした古い信仰や歴史を再発見することができます。石造物の調査に特別な知識や道具は必要ありません。フィールドに出て記録を採ることが重要です。石造物調査会では随時会員を募集しています。関心のある方は郷土文化館までご連絡ください。

(小田原市郷土文化館 保坂 匠 0405 99 1977)



調査の様子(城山地区浄永寺)



城山地区谷津公民館前の道祖神

## 山北田んぼ近況

山下良子

とうとう来ました！“貸している田んぼを返して下さい。”それは今年の3月のことでした。そして稲の刈取りを終わって秋に1反の田んぼ（#1）をお返ししました。今、山北、松田、秦野で第2東名の建設工事が進んでおります。そのための建設事務所や作業員の人達の宿舎を作るのです。

今年の3月に入ってから借りているもう1枚の田んぼ（#2）の前の田んぼが整地されて、宿舎と駐車場になるという看板が立っていました。山北のあちこちで第2東名の側道造りが始まっていますものね。今年の#2の田んぼはどんな感じになるのでしょうか。#2の田んぼの下側は古い町営住宅だったのが、全員立ち退き、田んぼのすぐ下は土置き場になっています。

振り返ると山北田んぼはH15年に1反3家族から始まりH17年に2反、H19年3反となりました。そのうちの1反を大豆と蕎麦を植えて田んぼと畑を交互にして、土壌の活性化も試みましたが、上手くいきませんでした。また、#1の田んぼの地主さんからは「米を作るんだよね！」と強く念を押されてしまいました。

そんなこんな、時を経て今年で16年目。抑草のやり方も石綿さんから教わった事をずっとやり続けて今に至り、田の草取りを3週間に1度のペースで行っても、あまり負担なく軽々と出来ています。収量も反当り7俵と理想のレベルとなっています。こんなに続けているのは18年前親子田んぼに入れてもらったお蔭でしょう。子供達が田んぼでの遊びを次から次と発明していくのには驚きの連続でした。その驚き、感動が今山北田んぼでも起きていますよ。子供の感性を大事にし、伸ばせてあげられたらいいなあと思っています。田んぼで子育て、米づくり、パパも若返る！今年から2反を8家族で。今までより身体の負担が軽くなるので、私たち昔のママには良かった事になるかしら？その分草取りにより熱中するのかしら？そしてランチタイム、おやつタイムで盛り上がる？

## ■舟原の溜池

—— 笹村 出

小田原市久野舟原には江戸時代初期に作られた溜池がある。久野に田んぼが広がっていった時代のものである。

この度、小田原に稲作が広がっていた時代の農業遺構として後世に残すことになった。20年前までは使われていたのだが、管理がされず荒れた場所になっていた。小田原市がこの溜池の登記を行い、保全してゆくことが決まった。管理責任は小田原市で、「美しい久野里地里山協議会」が管理を実施することになった。あしがら農の会は「美しい久野里地里山協議会」の団体会員として加入している。

3月11日と17日に農の会の多数のメンバーの参加で工事が行われた。水面を出来るだけ広く取るために、2段に区切る工事を行った。今後の管理がやりやすいように管理道路も作った。今後水生植物を植えて花が咲いて、地域の人の楽しめる場所にして行きたいと考えている。これからの管理の協力をお願いしたい。

うちは山奥なので、農場が野生動物に囲まれて  
いるような状態でいろいろ育てている。いろいろ血  
なまぐさいことを年中やっているのだが、息子(5歳)  
がショックを受ける心配があるので、あまり見せたくない。  
しかし、どうしてもタイミング悪く見られてしまうこと  
もある。鹿猪を獲ったらすぐに洗って中抜きをしなければ  
ならないのだが、水道がある家の前でやる。ちょうど  
腹から出している時に、幼稚園に出かける息子が通り  
かかる…。「あらあら…。」と言って素通り(笑)。

こないだの夜は、飼い犬が何やら吠えているので見に行くと、隙間にタヌキがいる。そのタヌキはエサ小屋を荒らしまくって指名手配中だったため、さっそく猟にとりかかる。息子がライトを持って照らし、犬が吠えて追い詰め、私が反対の出口に檻を設置して待つ。こうするのは3人の息が合わないのとれないものだ。30分以上の攻防の末、みごと捕獲。てっきりタヌキが可哀そうになって飼いたいとか、逃がしたいとか言うのかと思っていたら、「血抜きして食べたい」と(笑)。しかも何故かパンダだと思っているらしい。世の中の幼稚園児は、抽選で上野動物園のパンダを見たいとか言っているのだが、うちの子は自分で捕獲して、しかも食べるつもりでいた。

まだ、あの世に送る瞬間は見せたことがないし、見せたくはない。本当に失敗無く、楽に送ることができるようになった時、もし息子が希望するなら教えようと思う。  
(くだけけ生活舎 和田 一良)

## ジャガイモの会(作業報告)

鈴木 友子

“ジャガイモ部”だと思っていましたが、連絡メールを読み返すと、“ジャガイモの会”となっていました。“会”なんです。でも、気持ちはジャガイモ部の新入部員です。作物を育てた経験がほぼないので、わからないことだらけの中、参加させていただきました。

●1/12 畑準備(諏訪の原畑) …そばかすを30袋撒いて耕耘。(測量もしたような…)

●1/13 畑回りの草刈り、木の伐採等。(笹村さんの記録より)

●2/11 そばかすを30袋撒いて耕耘。(同上)

●2/24 畑準備 …畑の小石を取り除き、管理機で溝掘り。堆肥置場作り。

●2/25 植付け …鈴木は岩本さんと2人、欠ノ上の畑になったので、前日に行った畑準備をもう一度やりました。溝を掘り、岩本さんが準備してくださった鶏糞堆肥(だったかな?)を撒きました。30cmおきに種イモを植えていき、土を被せました。

(参加者と植付け量・計99kg) ・笹村さん 10キロ ・根守さん 20キロ(別枠) ・渡部さん 5キロ ・石井さん 10キロ ・吉宮さん 5キロ ・上野さん、杉山さん 5キロ ・江崎さん 3キロ ・太田さん 10キロ ・豊島さん 5キロ ・浜田さん 3キロ ・岩本さん 20キロ ・鈴木 3キロ

最後に、岩本さん、体調が悪いな器具や肥料を準備してくれたり、植え方などを教えてくださりありがとうございました。後日わかったことですが、インフルエンザにかかっていたそうです。めっちゃふらふらしてました(>\_<)

# ゆんたく広場

なんくる農園 松本 邦裕

2月27日にわたった一の研修先でもある自然農法センター主催の自然農法の集いに参加してみた。日頃自然農法の普及に努めている方々、農業者に限らない広い範囲の方々の集い。ちと人数が多めで距離感が遠目の感も...

今回いくつかあるテーマのひとつとして耕耘が挙げられていた。去年あたりから色々と考えている事の一つ。

耕すと言っても鋤で耕す、耕運機で耕す、トラクターで耕す等々色々ある。今回はトラクターに絞ってみると、日本で普及しているのは世界的には珍しいロータリー耕。

耕耘のメリットは土を砕き柔らかくして作業性を向上させる。雑草をすき込んだり有機物等を均一に混合するなど。反対にデメリットは団粒構造を破壊したり耕盤を形成したり。有機物等の消耗を激しくさせる等々。耕す必要なく効率的・安定的に栽培できればある意味理想的だと思うけれど、中々その域に達するのは難しい。畑のポテンシャルに大きく左右される。いかに営農的に安定的に野菜を供給できるかが常々の課題であろう。大きな目標は無耕起であろうが、今はデメリットを極力出さずにメリットを引き出す耕耘。耕耘時期(時期・土壌水分・タイミング)、深度、回数を考慮しつつ。

なんくる農園でも当初は緑肥草生栽培にて野菜を作っていた。畝間に緑肥を播き刈り敷に利用しながらの栽培。一年中緑豊かな畑。畑の面積も、お客さんの数も増え、作付け量が増大。端境期の対策。作付け計画も複雑になり、当初はあまり利用しなかったマルチなどの資材を少しずつ駆使するようになり、緑肥草生栽培での野菜作りが大変になり、トラクターを頻繁に使うようになる。畑の消耗を防ぐためにも夏緑肥を活用したり、有機物が不足しないように持ち込むけれど中々追い付かない。畑によっては問題も生じつつ。そんなこともあってまた緑肥草生栽培を一部取り入れようかと思案中。今までの経験を生かした形で。

風土、畑の状態に合わせいかに自然と農法の最適化をはかるかが永遠のテーマとなるのだろうか...

## 味噌の会恒例・一品持ち寄りレシピ ⑥

米粉 ゼミドーナツ みそ味噌 ミニ 24~30コ分

- |   |  |
|---|--|
| A<br>豆乳 100g(要調整)<br>なたね油 大1<br>(白太ごまでも)<br>さとら 30g<br>みそ 15g | B<br>製菓用米粉 180g<br>アーモンドパウダー 20g<br>ベーキングパウダー 小1/4<br>(アルミ箔シタイ) (6g) |
|---|--|

レシピ\*  
藤田 満穂

- ① Aをよく混ぜ合わせる
- ② Bを他のボウルでよく混ぜて①に入れる  
ゴムベラでよく混ぜる
- ③ 型に入れておく(型に入れる時はほり袋をつかうとセッ  
ザリイ)  
今回はワッフルプレートについていたミニドーナツ型  
で焼いたので5分ほどで焼けました。  
普通サイズのシリコン型ならオーブンで  
160℃ 20分ほど。ミニサイズなら15分で様子み7
- ④ 焼けた分はふんわりラップをかけて冷ます

※ 米粉において豆乳の量を調整する  
60gくらいから様子を見ながらホットケーキ生地より  
少しがたいくらいがあっかいやあい

## 農のデータコラム★39 今回は「物価の優等生」もやしの話で!

現在、日本では、緑豆(春雨の材料)やブラックマッペ、大豆を種子とするもやしに主に生産されています。緑豆は主に中国産、ブラックマッペはミャンマー産、大豆はアメリカ産で、種子は98%が輸入品です。日本での年間出荷額は約400億円で、生産量の上位3県は、栃木県90億円、福島県50億円、神奈川県27億円です。食料として消費される量はほうれん草を上回り、消費量の上位3県は、青森、岩手、長野の順番です。

低カロリーで栄養はあまりないと思われがちですが、他の野菜に比べ多くのタンパク質、ビタミンB群、C、カルシウム、鉄分、カリウム、食物繊維を含んでいるほか、アミノ酸の含有量も発芽により増加します。なんといっても疲労回復や代謝活性化などの効果があるアスパラギン酸が、大豆もやしにはアスパラガスの2倍、ブラックマッペはアスパラガスと同程度含まれています。他には、精神の安定に働き、ストレスを緩和させる作用があるギャバまでもが!

今年の様な野菜の高い時は、植物工場で生産され、天候にも左右されず、スーパーで一袋20~50円程度でいつでも手に入るもやしは家計費の救世主。しかし工場製品となったがために、スーパーの安売りの目玉商品となり、現在のもやしの販売価格は1977年の価格よりも安く、一方で原料種子や人件費などの生産コストは高騰し続けているために、2009年には全国で230社以上あった生産者は100社以上廃業し、最近では130社を切っています。「物価の優等生」は、消費者それともスーパーの犠牲者? 利益と競争の奴隷? その辺のところは、奇跡のリンゴの木村秋則さん推薦の「闘うもやし」(著者:飯塚雅俊)を読んでみてください!  
(黒澤太 Futoshi Kurosawa)

### 「柚子昆布であれこれ」

我が家に柚子がきました。おそらく今期最後の柚子かと思われましたので、昆布も細かくして一緒に塩漬けにすることに。

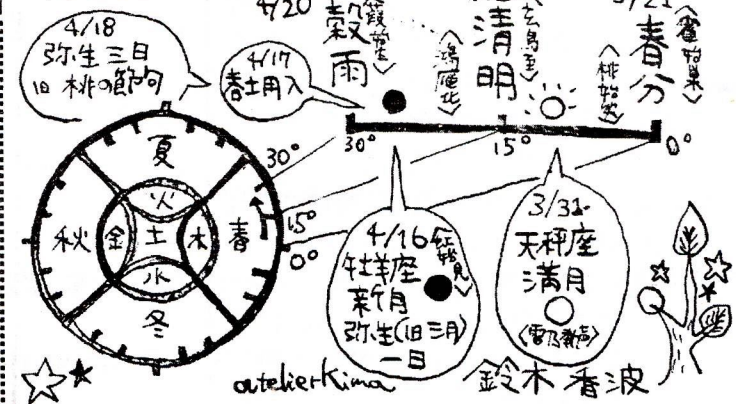
50度洗いをし、柚子の果皮だけを剥いて細かくみじん切り。果実も種を抜いてから同様に。煮沸消毒した瓶に細かくした昆布と柚子と塩2か3匙程度入れてシャッフル。塩昆布を利用すればより簡単に、旨味もあり手間も省けます。塩は加減してください。

手前味噌と柚子塩昆布を椀に入れ湯を注げば簡単な味噌汁に。茹で卵のトッピングや軽く塩揉みしたキャベツや白菜と合わせれば即席漬けに。魚介類、オリーブオイルと合わせても美味しそうです。

(小泉知奈美)

# 和暦時報

こんにちは。春分点を過ぎ、また0°から360°まで太陽のまわりをぐるりと巡る新たな旅のはじまりです。暦を司る木星、時の木影を感じさせる草木の芽生え…陰陽五行説で分類される五元素のうち春は「木」の季節です。色は青(緑)、感は青の重さでいとお怒、身体どいうと肝、エネルギーは拡散する重さか感人です。方向は東。太陽の昇る方向です。季節的にも社会的にも、1年のサイクルのスタートの時です。さて、今年はどうな夢の種を萌えようか…♪宇宙から、私たちの身体、心もちまご、大きな自然の流れに乗って楽しむたいです。青菜に酸味をきかせたあじなご飯食べて、肝を養ってあげましょう。麦や梅干しも、この時期の1本さとも助けてくれそうです。



### ●楽しくない川辺

私が育ったソールズベリーという美しい町(最近ロシアの元スパイに神経剤を使って殺人未遂事件で有名になりました)は英南西部にあり「五本の川の町」と呼ばれています。何故かと言うとここで五本の川が合流しているからです。私は水と密着し、水に親しんだ幼年時代を過ごしました。川で魚やザリガニや他の川の生息生物(大きな蛭が特に好きでした)を探していたとき、川辺にミズハタネズミという可愛い動物がよく現れました。ネズミと言うと、可愛い感じがしないかもしれませんが、ミズハタネズミは一般に知られているネズミより丸い顔で、丸い鼻と短い耳を持ち、何とも愛くるしい動物です。ビーバーの様に上手に泳ぎます。土手か睡蓮の葉に座って小さな手で水草を持って熱心に食べている様子は、川の世界の静けさと平和な楽しさを象徴している様でした。実際ミズハタネズミはThe Wind in the Willows(日本語で「楽しい川辺」かあるいは「ヒキガエルの冒険」という有名な児童書でヒキガエル君と共に大事な役を演じます。是非読んでみてください。

今はソールズベリーの川でミズハタネズミを探しても無駄です。昔よく出会えたこの可愛い動物は今イギリスで絶滅に近い状態になっています。彼らが生息していた場所の95%以上で今はこれを見ることはできません。この様な破滅的な減退の原因は生息地の喪失や環境汚染ですが、もう一つの大事な要因はミズハタネズミがミンクによって捕食されていることです。ミンクはイギリスの動物ではありませんが、毛皮用の動物飼育のため米国から移入されました。逃げたミンクは急速に増加し、今は在来の小動物や野鳥などをひどく衰退させています。五本の川の町の川辺はもう楽しくはありません。昔イギリスの静かな景色を象徴したミズハタネズミは今環境破壊のシンボルになっています。

Paul Courtney (ポール・コートニー)

### お 知 ら せ

○如月満月3/31 ●弥生新月4/16 ○弥生満月4/30  
4/5 [清明] 4/17 土用入 4/20 [穀雨]

4月度定例会 4月14日(土) 18:30~

@尊徳記念館302号室 \*担当:新永塚田んぼ(大瀬)

### ◎お茶の会 2018年お茶摘み予定

第1回 5月3日(木・祝) 予備日 5月8日(火)

第2回 5月5日(土・祝) 予備日 5月6日(日)

分配会 5月12日(土)13:00~ @尊徳記念館

[問:申込] 市原 nounokaiocha@gmail.com

### ◇小田原まちなか朝市 @平井書店駐車場

4月8日(日)、22日(日) 7時半~9時半

### ★ 森で遊ぼう! (森・里・川・海、知ろう、遊ぼう!)

4月28日(土) 10時~16時 @ダイナシティウエスト1階

【主催】プリの森づくりプロジェクト

<https://blog.goo.ne.jp/burinomori>

【通信が置いてあるお店】ポタジエラ/カフェブラッサム/バックシュトゥーベ IMAYA/えれんな ごっそ/がらんどろ/かふえ・えりむ/和カフェ ChaCha/井上種苗/ハルキ/ビーズピレッジ/ササキ補習教室/NONCAFE/Cafe ひみつきち/mame 元 cafe/フロマー-ジュ/ペ-カリアスラン/fumoto/ Rythme hair dressing/グリット/悠久庵/縁-えにし-/ナラヤカフェ/ロコモケア/いぬしや